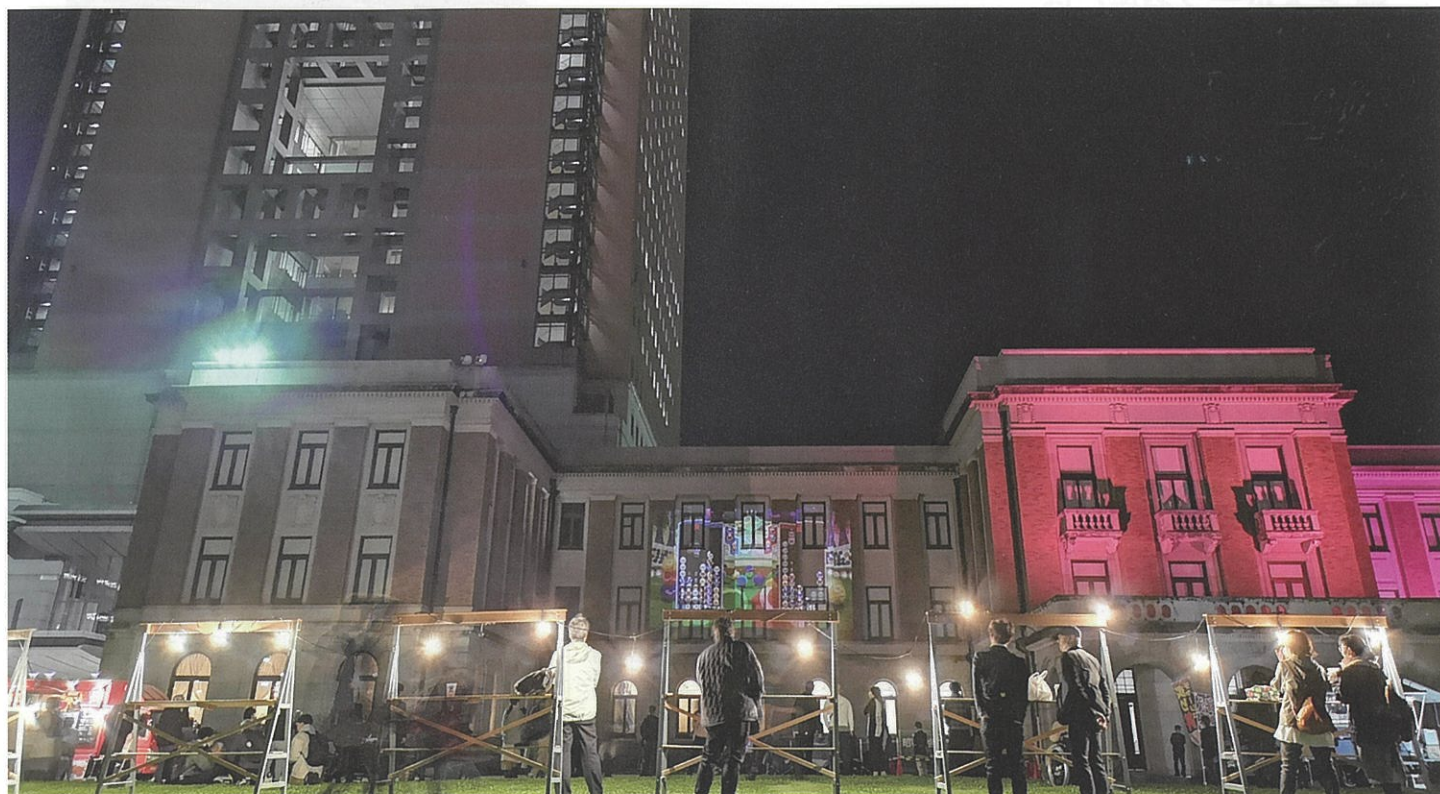




おまちっ!

Vol.
134

2023. 1. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



令和4年10月21日(金)に行われた「eスポーツ酒場」



使い方^{infinity}!パブリックスペース ~県庁でeスポーツ~

- eスポーツ酒場の開催 ~昭和庁舎の壁面で大画面プレイ!~
- リノベーションまちづくり講演会「地元愛を育む暮らしと、その先にある未来~熱海の奇跡の裏側~」を開催!
- 先進都市現地視察 ~松本市における松本城を活かしたまちづくり~

【連載】観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.30

昭和レトロのまち・青梅での温故知新・猫町プロジェクト
-織物の産地が生み出した地域イメージ・“猫”に光をあてた観光まちづくり

【トピックス】「たかやま未来センターさとのわ」グランドオープン!!

【マーチィ'sROOM】 ●マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
●マーチィ VOICE まちづくりプレイヤー紹介
●マーチィの掲示板 国土交通大学校へ入校した件

【まちづくりイベント情報】 ●県内で行われるイベントの紹介
●マーチィの独り





eスポーツ酒場の開催 ～昭和庁舎の壁面で大画面プレイ！～

群馬県 産業経済部 戦略セールス局 eスポーツ・新コンテンツ創出課

株式会社 INOKOMAX が主催し、群馬県の共催による「eスポーツ酒場」が、令和4年10月21日(金)に昭和庁舎前の県民広場で初めて開催されました。

■ eスポーツ酒場とは

今回実施したeスポーツ酒場は、昭和庁舎の壁面をスクリーンに見立て、プロジェクターを用いてゲーム画面を投影することで、大画面で迫力あるeスポーツ対戦や観戦を来場者に楽しんでもらうイベントです。

発案者は、主催者の仕事仲間で太田市出身の放送作家である、岐部昌幸さん。ご自身が手掛けるテレビ番組の企画の中で、「群馬県庁の壁面を利用してプロジェクションマッピングを活用したeスポーツ実況を行う」といったプレゼンを行い、実際に実現できないか、と群馬県に相談があったことが、今回のイベントのきっかけとなりました。

イベント当日は、キッチンカーによるアルコールを含む飲食の提供もあり、県民広場に集まった参加者は、設置した立ち飲みスタンドで食事を楽しみながら、「ぷよぷよ」や「魔界村」といったタイトルのeスポーツ対戦や観戦を満喫されていました。

群馬県 HP「eスポーツ酒場を開催します」

URL : <https://www.pref.gunma.jp/page/100108.html>



「eスポーツ酒場」フライヤー

■ 思いがけない反響と改めて感じたeスポーツのポテンシャル

行政庁舎にゲーム画面を投影するようなイベントは、全国初の試みであったため、広報のために発信したTwitter投稿には、100件を超えるリツイートがあるなど、多くの反響があり、eスポーツ業界内でも話題になったという話も聞こえてきています。

平日の夕刻からの開催でしたが、会場には、前橋市内の企業や商店街関係者のほか、県内各地からもeスポーツファンが駆けつけ、中には都内から来たという企業参加者もあり、改めて、今回のイベントの注目度の高さがうかがえる形となりました。家族で参加されていた県庁近くに住んでいるという方からは、「こういったイベントが日常的に開催されてほしい」といった嬉しいご意見をいただくこともできました。



昭和庁舎の壁面にゲーム画面が！

また、イベント実施後には、「自分たちでも同じように実施してみたい」といったご相談をいただくこともありました。今回のイベントは、ゲーム機とプロジェクター、投影する壁さえあれば、簡単に実施できますので、今回をモデルケースとして、県内で同様のイベントが増え、eスポーツの普及が更に進むのではないかと期待をしております。

今回のイベントでは、eスポーツが、まちなかの賑わい創出のツールとして活用できることの実証に繋がったと感じています。若い世代を中心に高い訴求力があると言われるeスポーツが、まちなかの課題を解決する切り札として、広く活用される日もそう遠くはないでしょう。



リノベーションまちづくり講演会 「地元愛を育む暮らしと、その先にある未来～熱海の奇跡の裏側～」を開催！

みどり市 産業観光部 観光課

■ はじめに

令和4年10月17日(月)に、リノベーションまちづくり講演会「地元愛を育む暮らしと、その先にある未来～熱海の奇跡の裏側～」を開催しました。

■ 講演会内容

書籍「熱海の奇跡」の著者である市来広一郎さんをお招きし、熱海市の商店街「熱海銀座商店街」等の再生に取り組み空き店舗を解消した事例を交え、参加者にまちづくりに必要なことを呼びかけました。

一番の驚きを感じたのは、観光地とされる熱海市でさえ、まちの人に熱海市の良いところを訪ねると「何も無い」との回答が大多数で、同市の魅力に気がついていない状況であったそうです。そうした状況からまちのファンづくりのためのガイドツアー(以下「オンたま」という。)を開催し、今まで開催したツアーは200を超えるとのことでした。

こうしたオンたまの小さな積み重ねが今に通じている訳ですが、オンたまは「地域の苗床」であるとのことでした。次のような説明がありました。

- ・ 徹底的に地域を掘り起こす(無いものねだり→あるものを活かす)
- ・ 資源を磨き上げる、育てる
- ・ 一番の地域資源は“人”
- ・ 地域には起業のネタはあるが苗床がなかった

「苗床がない」にはハッとさせられました。種を蒔いたとしても土壌がなければ育たない。当たり前のように見落としてしまふことだと思います。しっかりとした土壌をつくり、一番の資源である“人”が育つようにしなければと誓った日となり、講演会の最後に市来さんから「みなさんの力でこのまちのポテンシャルを引き出して欲しい。小さくてもいいのでアクションを起こしてほしい」という言葉が強く心に残っています。

■ リノベーションまちづくり始動！

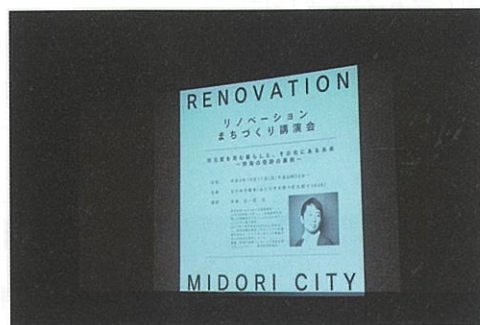
今回の講演会は今年度から当市が取り組む「リノベーションまちづくり事業」の一環として開催しました。「リノベーションまちづくり」は今ある資産を活用して自治体の都市・まちの課題を解決していく手法で、ここでいう「今ある資産」とは遊休不動産などの空間資源にとどまらず人的資源や歴史的資源も含んでいます。

今年度は講演会を中心に「リノベーションまちづくり事業」の周知を図るほか、都市課題解析のためのワークショップを開催し、次年度以降はリノベーションスクールの開催を予定しています。

■ 最後に

「まちづくり」は「ひとづくり」であることをあらためて感じる講演会でした。今回の講演会を通じ、「小さくてもアクションを起こす人」が増えてくれることに期待しています。

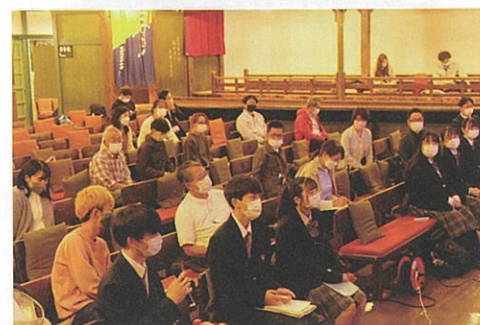
そうそう、期待だけではなく自ら行動ということで「まちにダイブ」してきます！
まちを「使い倒してくれる人」を募集中です！



講演会 オープニング画面



講師：市来広一郎氏



熱心に質問する高校生





先進都市現地視察 ～松本市における松本城を活かしたまちづくり～

群馬県 県土整備部 都市計画課

令和4年11月18日(金)に、長野県松本市で群馬県都市計画協会主催の先進都市現地視察を実施しました。3年ぶりの開催となった今回の視察には6市4町総勢31名にご参加いただき、松本城の周辺のまちづくりについて学んできました。



事業説明



松本城

■ 松本市 松本城周辺のまちづくり

松本市は長野県のほぼ中央に位置する長野県内で2番目の(人口の)都市です。北アルプス、上高地などの雄大な自然を有する一方、旧開智学校と松本城の二つの国宝があり、城下町として栄えた歴史文化のあるまちです。まちのシンボルで松本城を中心にハードとソフト両面で先進的なまちづくりに取り組んでいます。



大手門跡

松本駅と松本城とあがたの森公園の3点を結んだ中心市街地を主な整備計画区域として、都市構造再編集中支援事業を活用した基幹博物館整備、基幹道路整備、お堀の復元などを行っています。また、地区内に点在する拠点を有機的に結ぶ道路等の拡幅、歩道整備に伴う高質化を推進し、歩行者を意識した回遊性の高いまちづくりを進めています。

二つの国宝を有する松本城及び旧開智学校周辺においては「誰かに語りたくなる暮らし」を合い言葉に、公民が連携して実現するエリアの目指す姿を描いた松本城三の丸エリアビジョンを令和3年度に策定し、令和4年度より実現に向けた取組を段階的に開始しています。



松本市基幹博物館



環状線北整備事業



南・西外堀復元事業

公共空間の活用にも力を入れており、街場のえんがわ作戦(コロナ占用特例・歩行者利便増進道路)を実施して新型コロナウイルス感染症の影響を受ける飲食店等を支援しました。地元団体から要望のあった路線を指定する、1年目の占用料100%減免するなど独自の取組で制度活用促進に努めています。

民間と行政それぞれが志と責任をもち適切な役割分担によりまちづくりをしていると感じました。



街場のえんがわ作戦



昭和レトロのまち・青梅での温故知新・猫町プロジェクト

—織物の産地が生み出した地域イメージ・“猫”に光をあてた観光まちづくり

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

令和5年の新年を迎えました。令和も5年目、令和の前は私たちが生まれた平成、そしてゼミの大家先生が青春時代を謳歌していた昭和。今回は、その昭和レトロで人気を博した東京都青梅市のいまの観光まちづくりを紹介します。なぜ猫町、それは絹織物とも関係していた、これでいいのだ～。

■ 昭和レトロなまちで知名度をあげた青梅

東京都西部を東西に横断する中央線・青梅線の名称ともなっている青梅駅。青梅市街には、かつて“青梅大映劇場”“青梅キネマ”“青梅セントラル劇場”の3つの映画館があり、そこで放映された昭和を代表する映画作品の看板が、まちなかのあちらこちらに点在展示され話題になりました。今もなお、青梅市を代表する観光要素の一つとして現存しています。

昭和レトロのイメージを強めたもう一つが、2003年に開館した誰もが知る人気マンガのキャラクターを生み出した赤塚不二夫の記念館でした。しかし残念なことに、2020年3月に閉館することとなりました。最寄りの青梅駅発車メロディに“ひみつのアッコちゃん”の主題歌が起用される等、時代の変わりとともに赤塚イメージが定着してきていました。天才バカボンの銅像がお出迎えしてくれていた赤塚不二夫記念館は形としては残っているものの、その中に保存されている数々の足跡を拝見できなくなってしまったのは、いささか悲しい気持ちになります。時代の移り変わりとともに、過去の歴史や足跡は薄れていくものなのでしょうか。



かつては映画看板の青梅として注目を集めていた。天才バカボンの像がなつかしい

(2014年1月：大下教授写真提供)



青梅の商店街が住吉神社に招き猫「阿於芽猫祖神」を奉納。織物の町ならではの光景……。

(写真提供：まちづくりラボ・サルベージ)

■ 猫町プロジェクト(猫町にゃにゃまがり)ーなぜ「ねこ」なのか

そんな青梅は周辺地域を代表する絹織物の中心地でもあったのです。路地が入り組んでいる通りに足を踏み入れると、いたる処に「猫」をモチーフにした看板やモニュメント、猫の神様(阿於芽猫祖神)等に出会えます。路地空間は「猫町にゃにゃまがり」と呼ばれ、猫だけにまち歩きしている観光客を招き入れているのです。

織物のまちではネズミは大敵です。そのため昔から各家には飼い猫が家族の一員としてネズミを寄せつけない役割を担っていたのです。“織物産地＝猫町”としての地域イメージを観光に活用し、東京都の地域資源発掘型実証事業を活用して、「猫町プロジェクト」として新たな展開を図っているのです。



手づくり感のある路地の名称。にゃにゃまがり。

■ JR青梅線の沿線地域が連携した女子旅が話題に。。。

青梅線エリア女子旅推進委員会が定期的で開催している旅促進イベントでは、謎解きゲーム形式で沿線の立川市や青梅市などの5市の観光スポットを巡る企画や、青梅線エリアで撮られた写真を投稿するフォトコンテスト等、多様な形式の企画が行われてきました。現在は“青梅線女子旅発酵ツーリズムイベント”の企画が進行中で、発酵をテーマに日本酒やまんじゅう等だけでなく、ビールやチョコレート、パン等の発酵食もイベントで集結しています。もう一つは、青梅駅より先の奥多摩町が中心となって展開している“沿線まるごとホテルプロジェクト”です。青梅・奥多摩の大自然を体感できる旅企画で、無人駅の駅舎がフロントとなり空き家が客室に改装され訪問客をお出迎えしてくれるものです。青梅市の観光まちづくりは、レトロなものも引き出し、時代のニーズに沿った編集を加えて進化しつつづけています。(Small river 小川)



路地の足元やブロック塀の上に、何気なく猫の置物や看板が展示されている。それを探して地域を巡るのも一興である。

参考資料：まっちいvol.33(2006.1.1)「レトロ看板で昭和にタイムスリップの巻」も参照ください。





「たかやま未来センターさとのわ」 グランドオープン!!

高山村 地域振興課

令和4年9月17日(土)、高山村の中心部に位置する道の駅「中山盆地」隣に「たかやま未来センターさとのわ」がグランドオープンし、オープニングイベントを開催しました。

屋外広場では地元和太鼓チームによる演奏やマルシェ出店、さとのわ内では絵本の読み聞かせ・絵本を題材にした木工ワークショップ、料理づくりなどのイベントが行われ、多くのお客様で賑わいました。

イベントの最後には、むらの中心地づくりに関わる大学教授や企業の方、移住者のゲストを迎え、持続可能な村づくりをテーマにシンポジウム「たかやま未来カイギ」を行いました。



オープニングセレモニー



たかやまマルシェ「星の市」



上州高山いぶき太鼓による演奏



村の未来を考える「たかやま未来カイギ」

■ 「たかやま未来センターさとのわ」の役割

本村では、人口減少などの課題解決や持続可能な村づくりを目指すために、道の駅周辺エリアを「むらの中心地」をして位置づけ、平成30年7月に村の若者世代の方々と「むらの中心地づくりプロジェクト」を発足し、中心地のコンセプト「一人一人が次世代を想い100年先も住みたい持続可能な村に」を推進してきました。

さとのわは、村内外に高山村の魅力を発信しながら、むらの中心地のコンセプトを体現し、実現する施設として役割を担います。

■ 「さとのわ」を環る4つのエリア



たかやま未来センターさとのわ全景

さとのわは、地域の産業と観光、暮らしをつなぎ、4つのエリアを循環させます。

① さとのわフードファクトリー

村の農産物の可能性を広げるために農産物の加工や商品開発を行います。村の野菜や果物などを新鮮なうちに加工し、それらを使ったメニューをさとのわカフェで提供します。

② だんだん広場

1階と2階をつなぐ大きな階段は、ゆったりくつろげる広場です。多世代交流をはじめ、トークやライブなどのイベント会場としても活用できます。



村の旬の食材を活かした
さとのわカフェのメニュー

③ さとのわカフェ

村の食材の発信の場として、村の生産者・店舗と連携しながら、村の旬の食材をいかしたジェラートやピザ、ごはんもの、スープなどを提供します。

④ さとのわラウンジ

観光や移住を中心に、村の掲示板として情報発信をします。Wi-Fiや複合機、個人ワークブースが利用でき、仕事や学習の場、地域内外の方の活動場所としても活用できます。

～防災施設として～

さとのわは、災害に備えた避難所にもなります。1階に備蓄倉庫を設け、水や食糧、生活必需品等を配置・管理します。また、停電の長期化に備え、非常用発電機が配備されており、避難者の安全・安心を確保するため、施設内の電源を3日間稼働できる施設となっています。

■ 「むらの中心地」周辺施設

さとのわをはじめ、道の駅「中山盆地」農産物直売所、日帰り温泉、ふれあいパーク(遊具)、宿泊コテージがございます。是非遊びにいらしてください。



さとのわ
インスタグラム



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「風景にさわる ランドスケープデザインの思考法」 著者 長谷川浩己 丸善出版



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!



著者の長谷川浩己氏は、建物以外の様々な外部の空間をデザインするランドスケープ・アーキテクトとして活躍し、群馬県の県立館林美術館と一体の多々良沼公園のランドスケープデザインを監修するなど本県とも関わりが深い。

都市環境から自然環境まで、公共のあらゆる場所において生まれる風景を風土や環境、コミュニティなど人と土地の関わりから考察し、時に哲学的な探求が書かれていますが、写真も多く、文章もわかりやすいのでおすすめの一冊です。

コロナ禍において外で過ごすことが多くなり、新たなニューノーマル社会となるなかで、コミュニティが脚光を浴びるようになったと思います。風景こそが公共空間であり、見た目だけでなく、機能だけでなく、まちのありようを示すモノとして認識されたのではないのでしょうか。様々な人が自分の好きな場所に居られ、好きに腰掛け、お互いが見える環境にいられることが風景の最大の役割と私も感じます。

そういった環境の変化もある中で、本書は参考文献も豊富で、教科書としても好適です。様々な人の属性(レイヤー)を見ながらの丁寧な設計手法や、夜景としての照明デザインはコストパフォーマンスがよいなど実践的要素も豊富に取りそろえられておりますので、ぜひ皆さん手に取って実践もしてみてください。

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

つきのき商店 田中 静



ハート形土偶



つきのき商店内

東吾妻町郷原遺跡で出土したハート形土偶。その東吾妻町で土偶と駄菓子とワークショップのお店を2022年春にオープンしました。

お店では土偶作り体験、ハート形土偶をメインにしたハンドメイド雑貨、駄菓子を取り扱っています。地域おこし協力隊として東吾妻町に着任し、3年前に卒業しました。

土偶関連については町内外から、駄菓子は主に近くの方に来ていただいています。地域との繋がりも持ちたい、外から来てもらえる繋がりを作りたいというふんわりしていた思いが少しずつ形に出来てきているのかなと思っています。

小さな建物ですが、建物内は楽しい世界観を作り上げており、日々進化中です。

お店だけのお店じゃない、誰もが気軽に寄ってもらえる場所作りを目指していますので、ぜひ遊びにきてみてください。

『つきのき商店』 営業日：公式Instagramをご確認ください

電話番号：090-2708-6172

Instagram：https://www.instagram.com/tsukinoki_store



つきのき商店
インスタ

マーチィの掲示板

国土交通大学へ入校した件

群馬県都市計画課まちづくり室企画推進係 小嶋 桂太

2022年11月7日から11月11日はオンライン、11月14日から11月18日は集合で、東京都小平市の国土交通大学で開講された『都市行政(持続可能な都市経営に向けた官民連携まちづくり)研修』に参加しました。少子高齢化、人口減少社会においても持続可能な都市経営を学ぶ研修になりますが、40名弱の参加者の大半が30代半ば以上という世相を表しております。(若者が少なかったなあ)

さて、研修は講義と課題研究ということで、全国津々浦々から集まった皆さんと、喧々ガクガクの議論を門限までまちに飛び込んで毎日行いました!場所は東京ですが、地元名産を探して2軒3軒と歩いたのがとても印象に残っています。門限を気にする人、すごいしゃべる人に食べる人等様々ですが、参加者全員がまちを楽しみました。自然と役割分担ができ、課題研究をしながらも、全員が新たなつながりや新しい情報を得て帰ることができたとても楽しい研修でした。

今回の受講で得たつながりや、知識をこれからの施策に生かせるように取り組んでいきたいと思っています。



チーム ウォーカブル依存症
(現地調査は寒くて死にそうでした)



まちづくりイベント情報

※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期場合があります。予めご了承ください。

桐生に泊まってお得キャンペーン!

ワクチン接種等の条件を満たして、市内の登録宿泊施設に泊まった方に電子地域通貨「桐ペイ」2,000ポイント分のカードを交付しています。

■令和4年12月1日(木)～令和5年2月28日(火)

【お問い合わせ先】

桐生市観光交流課 観光振興担当

TEL 0277-46-1111

(内線369)



冬のお出かけデジタルスタンプラリー

群馬県公式アプリ「きめめぐり」をダウンロードして、前橋市、伊勢崎市、渋川市、榛東村、吉岡町、玉村町に設置された20箇所のスポットを3箇所巡り、豪華賞品に応募しましょう!

■令和4年12月1日(木)～

令和5年2月19日(日)

■県央エリア6市町村に設置した

20箇所のスポット

【お問い合わせ先】

前橋行政課税事務所

TEL 027-231-2765



「かな・かぶらくらぶらの旅道の駅 物産シールラリー」開催中!

“かな・かぶら(群馬県多野藤岡・甘楽富岡地域)”の魅力がたくさんつまった道の駅を巡り、その土地ならではの特産品や自然を楽しむシールラリーです。

■令和4年12月1日(木)～令和5年2月28日(火)

■道の駅の対象8店舗

【お問い合わせ先】

藤岡行政課税事務所

TEL 0274-22-5101



第5回富岡市全国絵手紙公募展～私の好きなレトロな世界～

富岡製糸場および街なかの店舗等で絵手紙を展示します!

その他キャンペーンあり。詳細はHPをご確認ください。

■令和5年1月21日(土)～

3月21日(火・祝)

9:00～17:00

(最終入場16:30)

■富岡製糸場 東置藪所

【お問い合わせ先】

(一社)富岡市観光協会

TEL 0274-62-6001



おしらせ

第8回まちづくり講演会

「都市の経営と図書館の役割」

一産官学民金の協働モデルを構想・実現する一

前橋市立図書館本館の移転整備をはじめ、市内図書館に関する動きが活発化していることを踏まえつつ、都市を持続可能なものとして経営していくことと図書館が果たす役割について、アカデミック・リソース・ガイド(株)代表取締役の岡本真氏による講演を行います。

■令和5年2月28日(火) 14:30～16:00

■前橋テルサ9階 つつじの間

【お問い合わせ先】(公財)前橋市まちづくり公社

まちづくり推進課 TEL 027-289-5565



官民連携まちづくり

シンポジウム2022

公務員が自らまちに入り込みことをテーマとして、官民連携の実践者から「まちの人たちとの関わり方」や「民間事業者との人脈のつくり方」を学び、実践につなげることを目指します。

■令和5年1月27日(金) 14:00～15:30 受付開始13:30

■群馬県庁32階 NETSUGEN

【お問い合わせ先】

群馬県官民連携まちづくり プロジェクトチーム(都市計画課内)

TEL 027-226-3665



帝京大学
TEIKYO

経済学部 観光経営学科
Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- 観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- 旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- 実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報	出願期間	選考試験日	合格発表日
※詳細は必ず「入学試験要項2023」をご確認ください。	一般選抜 1期	2023年2月1日(水)	【試験日自由選択制】 2月21日(水) 2月22日(木) 2月23日(金)
	2期	2023年2月13日(月)	

※出願方法はインターネット出願です。

帝京大学 本部広報課 TEL: 0120-508-739 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL: https://www.teikyo-u.ac.jp/

Salvage

地域の宝を掘り起こす! 観光事業支援

まちづくりラボ・サルバージュ株式会社

「伊勢崎市境島村まちづくり推進事業委託」他各地でお世話になっております。

- 観光事業 (PR) 支援
- イベント企画・運営支援
- 特産品を活用した商品
ご当地メニュー開発
- 観光市場調査

弊社公式ページ

東京都町田市巾着町1-22-7
Tel. 042-729-8618 Fax. 042-729-8619

マーチの独り言



新年あけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしになりましたでしょうか。2023年の干支は「卯(うさぎ)」です。うさぎ年はうさぎの飛び跳ねる姿から「飛躍」、「向上」の年とされています。心機一転あたらしいことにチャレンジしたり、新しい目標設定をしてみてもいいかもしれません。飛躍するためには大きくしゃがみこんで力を貯めなければなりません。今年度もあと3ヶ月ですが、来年度大きな飛躍ができるように、準備を整えたいですね。これからもまちづくり情報の発信をしていきますので、これからも「おっ! まっちい〜」をよろしくお願いします!。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)

TEL 027-226-3661 URL https://www.pref.gunma.jp/site/machidukuri/11493.html

